

日刊 動労千葉

'79.1.31
No. 21

国鉄動力車労働組合
千葉地方本部

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二二五八〇九(公衆)三三二七二〇七

千葉支部代、重大な決意をもって 千葉地本の本格的態度を決定!

※※※※
千葉支部代、重大な決意をもって、29日13時より動力車会館において各支部代表者及び地本大会代議員・傍聴者約70名が参加して開かれ、1/31本部『交流』会議をはじめ、当面の取り組みについて決定した。

1/31交流会議の前提条件は はたして整っているのか?!

10/10回定中委における千葉地本・地青三役に対する査問委設置・統制処分策動以降、1/24回全国青年部長会議での千葉地青の『権能停止決定』という暴挙、『後部問題』に代表される中央本部による規約規則・秩闘運営ルール無視、千葉地本無視の組織指導、さらに、『千葉地本は敵対矛盾である』とする青木書記長発言、東スロック組織部長会議における『千葉地本再建のため団結ガンバロー』なる城石組織部長の首領。などなど……。

このような一方の側からの異常なまでの千葉地本に対する攻撃をそのままにして——つまり、千葉地本に対しては些細なことまで難クセをつけるがごとき、組織指導をして、一方はテタラメのやりたい放題の状況をそのままに放置しておいて——はたして本部のいう『交流』会議なるもの前提条件があるといえるだろうか?

このままで『交流』会議を強行するならば問題の解決どころか、むしろ逆に、より悪化させるだけであるといわれれば考えらる。

千葉地本の基本的態度

以上の基本的認識を千葉地本のものとして確認し、1/28回拡大支部代会議は、『1/31交流会議』への参加の前提条件が、次の各点の先行解決にあることを確認決定した。

千葉地本 から本部へ 四点の申し入れ

一、1/24回全国青年部長会議における千葉地本に係わる決定事項は、規約違反であることを明確にし、その具体的発動である関東青年部長11号(78)

12・15付の回収と今泉関東地評議長、同村上青年部長に対する組織統制の処置をめぐり動力車新南二六六号(78・12・27)の撤回と訂正、謝罪記事の掲載。
二、『千葉地本は敵対矛盾である』、『裏切り者は自由はない』とする青木書記長発言の撤回と自己批判。
三、東スロック組織部長会議において、『千葉地本再建のため団結ガンバロー』なる首領をこたえ城石組織部長の謝罪と自己批判。
四、青年部学習文庫2号『千葉問題の本質的解決のために』の全面回収と謝罪。

重大な決意を込めて動労 の大改革運動を展開しよう。

70年の『水上』問題以来、千葉地本はあらゆる誹謗・中傷・テロ・リンチに屈せず、動労の階級的組合民主主義の確立と戦闘的統一と団結を目指し、ねばり強く闘ってきた。

われわれの闘いの結果、革マル派とその追いつ分子の反動性は全組合員の前に暴露され、危殆意識にかられた彼らは、『水本問題』を持ち込み、三里塚・ジェット闘争を内部から圧殺し、『貨物安定宣言』を強行し、いよいよその反動性をむき出しにしてきている。周知のように、彼らを批判し反対する者に対して、反動的なテロ、恫喝、排除の論理をほし、まさに、おそいかかるという事が今日常態化してしまっている。

これが正常な労働運動といえるか!
一四〇〇組合員・家族は、総決起行動をもって、自らの生活と取場を守るため動労の戦闘的伝統を正しく継承発展させる大改革運動を決意した。
教団の80年代を闘い抜く労働運動の構築をめざして断乎闘いを貫徹しよう!